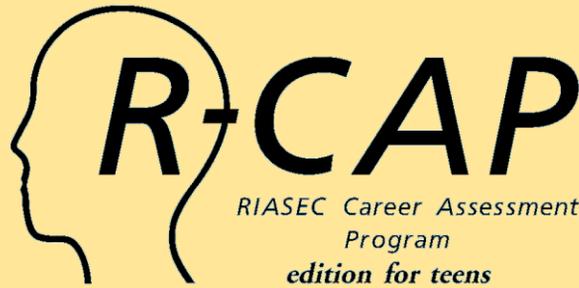


# キャリア教育支援ツール [自己発見・職業・学問適性診断]



## 活用例とスケジュール 2 (職業研究などでの活用例)

type  
Gtype  
S

詳しくは担当まで  
お問合せください

### =CONTENTS=

- 1 職業研究(就業観育成)に活用する <職業研究ワーク>
- 2 総合学習に活用する <自己理解・職業研究・学問研究ワーク>
- 3 受検前の事前ワークを実施 <イラストマップワーク>
- 4 専門高校(工業・商業等)での活用 <専門学科用ワーク>
- 5 面談を行う前に活用 <面談準備ワーク>
- 6 2年次にも再度活用 <志望校チェックワークなど>

詳しくは内面をご覧ください

最新の情報はWEBページもご覧ください。  
各種ご依頼フォームやワークシート集・  
授業プランを多数そろえております。



[http://r-cap\\_teens.riasec.co.jp/](http://r-cap_teens.riasec.co.jp/)

# 1 職業研究(就業観育成)に活用する <職業研究ワーク>

## ねらいと効果

- 生徒が自身の可能性を知り、“主体的に”進路研究を行うことができる。
- 生徒自身が今まで知らなかった職業や意外な職業にも目を向けることができる。
- 調べ学習をして、その職業の具体的な仕事内容とやりがいを知ることができる。



## スケジュール例

4月		結果返却時に大卒の見方解説をする。
5月	定期考査	
6月	R-CAP受検 約3週間 結果返却	
7月	定期考査 R-CAPワーク(職業研究) 二者面談	
8月	職業研究ワークシートを実施(マニュアル参照)	
9月	インターンシップ	

## ■先生の声

R-CAPは、生徒自身が今まで知らなかった興味・関心を引き出してくれます。

生徒がR-CAPの結果を見て、視野が広がり、多くのことに興味・関心を持つようになることが、R-CAPの一番のメリットですね。

また、仕事カタログの「なるにはモデル」は進路を考える上で、生徒達に非常に有効だと感じました。

# 2 総合学習に活用する <自己理解・職業研究・学問研究ワーク> ※3~5コマ可

## ねらいと効果



- 進路で迷っている生徒が、自ら進路を考えられるようになる。
- 生徒が自主的に学習・活動することができる。
- 職業観を養い、将来に対する意識が高まる。

## スケジュール例

4月		結果返却時に大卒の見方解説をする。
5月	文理選択ガイダンス 二者面談・定期考査 文理選択支援冊子配布	
6月	R-CAP受検 約3週間 結果返却	学年部会総会(保護者対象)
7月	自己理解ワーク 職業研究ワーク	定期考査 二者面談
8月	自己理解ワークシート・ 職業研究ワークシート を実施(マニュアル参照)	オープンキャンパス
9月	学問研究ワーク	学問研究ワークシートを実施 (R-CAP Web参照)

## ■先生の声

毎年総合学習の時間に就業観を養う活動をしたり、調べ学習をしていたが、いまひとつ生徒の意識が高まらず、やらされ感の強い状態でした。

R-CAPを実施することによって、自分事と捉える生徒が増え、自主的に興味のある職業や学問を調べようになったのは期待以上の進歩です。

資料も豊富で生徒が進路を考える上で、大変有益だと考えています。

### 3 受検前に事前ワークを実施 <イラストマップワーク>

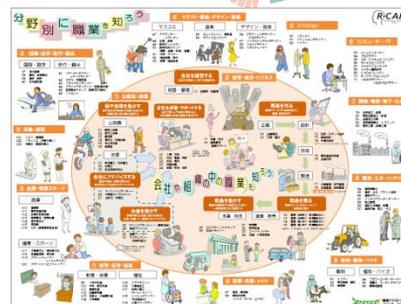
#### ねらいと効果

- 進路を迷っている生徒が、自主的に進路を決めることができる。
- 将来、どのように働きたいのかイメージすることができる。
- 世の中の仕事がどのように関わりをもっているか発見できる。



#### スケジュール例 ※生徒用ガイドP4-5に掲載。Webページからもダウンロード可

4月			
5月	職業イラストマップワーク	定期考査	職業イラストマップで職業の全体像やつながりを理解。(学問イラストマップもあります)
	R-CAP受検		
6月	約3週間	職業人講話	結果返却時に大枠の見方解説をする。
	結果返却		
7月	自己理解ワーク 職業研究ワーク	定期考査 二者面談	
8月			教員用マニュアルを参照ください。
9月			インターンシップ



職業イラストマップ(通称 職業まんだら)

#### ■先生の声

職業に関する興味を膨らませることができ、生徒ひとり一人が将来のイメージを持つことができました。

自分のしたい事がわかり、かつ学校生活が将来にどのように関わっているか理解し、今では学校行事にも積極的に参加しています。

### 4 専門高校(工業・商業等)での活用 <専門学科用ワーク>



#### ねらいと効果

- まず専門分野(めざす就職先)を中心に職業理解を深めることができる。
- やりがいや働くスタイルなどについても理解し職業観育成をはかる。
- 専門分野だけでなく、様々な分野についても幅広く理解できる。

#### スケジュール例

4月			
5月		定期考査	
	R-CAP受検		
6月	約3週間	職業人講話	結果返却時に大枠の見方解説をする。
	結果返却		
7月	専門学科ワーク	定期考査 二者面談	工業・商業学科用ワークを実施(R-CAP Web参照)
8月			※全123職種中の専門分野約30職種に注目し職業調べするワークシートです。
9月			インターンシップ

#### ■先生の声

専門学科でも自分の価値観をもとに働き方を考えること・自己理解をすることは低学年時に必要な進路学習だと考えます。

しかし、専門分野と異なる分野は、最終的にあり得ても、まずはこの分野で自分の将来像を描き努力し、日々の学習に力を入れて欲しい。その意識付けのためにもR-CAPは必要と感じる。

結果、最終的に分野外を希望する生徒にも有効。中学で専門分野を選んで来た生徒だから、なおさらR-CAPは必要だと思います。

## 5 面談を行う前に活用 <面談準備ワーク>

※2者・3者どちらでも

### ねらいと効果

- 事前に、生徒に自分の考えをまとめさせることで、曖昧だった進路希望が明確に。
- 記入内容に矛盾や不明確さがあれば、面談で投げかけ効率的・効果的な面談に。
- 保護者にもワークシートにコメントを記入させ、生徒との対話を促すことも効果的。



### スケジュール例

4月			結果返却時に大卒の見方解説をする。
5月	R-CAP受検	定期考査	
6月	約3週間 結果返却	職業人講話	
7月	面談準備ワーク	定期考査 二者面談	面談準備ワークで事前に準備を進めることによって、生徒と具体的な進路面談ができる
8月			
9月		インターンシップ	

### ■先生の声

「何をしたいか分からない」という生徒が年々増えていたが、R-CAPで事前に考えさせることで、手探りでも、自分なりの考えを話してくれる生徒が増えてきたことがうれしいです。

結果、面談時間も短縮され、中身も濃くなっていると感じます。

三者面談でも、保護者とあらかじめ対話がなされているため、面談を進めやすい環境になっています。

## 6 2年次にも再度活用 <志望校チェックワークなど>

### ねらいと効果

- 1年次の取り組みを単発で終らせず、前に調べた職業・学問を深める。
- 2年次でさらに、具体的な志望校や資格取得を調べ行動を促す。
- 迷ったり、他の分野に興味が出たら立ち返って考える基準とさせる。



### スケジュール例

一学年	R-CAP受検		
	結果返却	二者面談 インターンシップ 職業人講話 三者面談	
	各種研究ワーク		
	※1年次に取り組んだものをさらに2年次に深める！		2年次前半にワークに取り組ませることで、1年間を自主的に活動的に過ごすことを促す。
二学年	志望校チェックワーク など		
	※就職希望者は志望業種研究	二者面談	

### ■先生の声

中だるみしやすい2年次ですが、1年次のR-CAPの取り組みをさらに深めることで、具体的に進学先(学部・学科研究など)を調べたり、就職を意識した資格取得を考える生徒が増えてきました。

進路先が具体的になると、生徒も積極的に活動するようになり、大変うれしいです。

また、1年前の自分との心境の変化や成長を感じる場面もあり大変有意義なワークだと感じています。